



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 小 林 正 啓
幹 事 金 山 信 利 会 報 委 員 長 元 氏 成 保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2506

2021-10-22

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30



Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度国際ロータリー会長 シェカール・メータ

本日の例会

10月22日(第4例会)

●例会場 シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

●卓話 「ロータリークラブ入会を振り返って(コロナ禍とともに)」

入会歴が2年に満たない私が考えるロータリークラブの事。

いきなりコロナ禍に見舞われた体験談

野村 篤会員

次週のお知らせ

10月29日(第5例会)

●例会場 シェラトン都ホテル大阪 4階 浪速の間

●卓話 「私の趣味と仕事」

天然ゴムの話、社交ダンス

尾崎 巖会員

●食膳 <日本料理 和定食>

次々週のお知らせ

11月5日(第1例会)

●例会場 シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間(予定)

●卓話 「米山制度について」

2018-19年度 米山奨学生 黄 勉氏

(西谷雅之会員担当)

先週の記録

10月15日(第3例会)

●出席報告

出席会員 34名(内免除会員4名)

会員総数 46名(同上12名)

ゲスト 0名

ビジター 0名

計 34名

ホームクラブ出席率89.47%

10月1日(第1例会)補正出席率100%(MU6名)

◆ 副会長の時間 ◆

2021-2022「インフルエンザワクチン接種に関する考え方」

2020-2021幸いなことにインフルエンザの流行は殆んど見られませんでした。これは、COVID-19の対策として普及した手指衛生・マスク着用・3密回避・国際的移動の制限がインフルエンザへの予防に効果的であったと考えられます。又、ウイルス干渉があった可能性があります。

社会全体のインフルエンザに対する免疫が少なくなり小流行を繰り返すことで、海外からウイルスが持ち込まれれば、大流行の可能性があります。

英国政府は、今年のインフルエンザは早期に流行が始まり、昨年流行が無かった為に例年の1.5倍の流行になるとワクチン接種を呼びかけています。

以上、日本感染症学会では2021-2022年インフルエンザワクチンの積極的接種を呼びかけています。

◆ 幹事報告 ◆

○10月1日、JASSO大阪日本語教育センターでの食堂支援金贈呈式の感謝状を受付に飾っておりますのでご覧ください。

○地区より2022-23年度 地区委員会出向者推薦のお願いが届いております。

候補者の選出条件は

※クラブの瑕疵(かし)なき正会員で3年以上の在籍者

※ホームクラブの例会および行事や事業に積極的に出席している者

※委嘱された地区委員の職務を、熱意をもって遂行する意思と能力を有する者

※将来のリーダーとして有望な者

※異なる委員会に連続出向とならない者

※出向歴が継続、非継続に関わらず10年を超えない者です。出向希望される会員は、小林会長または三宅会長エレクトに申し出てください。

○ロータリー日本100年史が届いております。読みたい方は仰ってください。また、購入も可能ですのでご希望の方は、事務局へお声かけをお願い致します。

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

卓話

10月15日〈第3例会〉

「私の仕事」

4年前に起こった自身7例目の保険金支払いについての思い出をお話します。

細川直人会員



前職で来店促進の仕事をして頂いた縁で、スーパー銭湯の支配人から生前給付保険と総合医療保険をお預かりしたのは入社1年目売り出しすぐの時だったと思います。「なんか儲かる話ない？」が口癖の支配人には離婚歴があり、独身で時間には余裕があったようです。売り出し当初は行き先もなく行けば契約や紹介を頂ける銭湯によく通い、タダでお風呂に入れてもらっていたことを今でも覚えています。ほどなくして支配人は同じ職場のパートの女性と再婚。その女性の保障も支配人が保険料負担者となりお預かりすることになりました。

再婚後3年ほど経ったある日、「主人が心臓を押さえながら職場で倒れ、救急車で運ばれて」と奥様から電話があり、14時間にわたる緊急手術が終わり判った病名は急性大動脈解離、心臓から体内に送り出された血液が通る血管がタテに裂ける重病です。

ポンプの役割が弱った心臓は血液をうまく循環させられず、ほどなく血栓が脳周辺の血管に詰まり脳梗塞と診断。支配人の仕事は続けられなくなったこともあり、保険金が出るまでの2か月はそれはそれは長かった……。支配人は入退院を繰り返しながら要支援状態に。奥様と市営住宅に住み込みの管理人として生計を立ててはいましたが、「細川さん、なんかええ話ないん？」と手振りを交えながら伝えてくるその手先は壊死して冷たくなっていました。

3年にわたる闘病の末、亡くなったのは4年前の正月休み明けでした。奥様から「通夜告別式前に会ってやってください」と呼ばれ、クイックサービスの手続き中にかけてもらった「細川さん最後ちゃんとしてくれたで」と遺体に向けて交わした言葉は忘れることができません。

人が亡くなくても、残された家族とつながり続けるご縁。ライフプランナーは、長く続ける覚悟と強い責任感を必要とする仕事です。



▲内藤喬皓副会長



▲例会風景

にここ箱

10月15日(第3例会ハイブリッド)

- 母校関西大学野球部 秋季リーグ戦優勝。毎試合応援に行っています。次は神宮での全国大会です。
中尾会員
- 山本智重さん、宝塚ゴルフクラブでのコンペ写真有難うございます。
南賀会員
- 本日卓話致します。どうぞ宜しくお願い致します。
細川会員
- 遅れましてすみません。
三宅会員
- 前回例会を欠席しました。すみません。
勝島会員
- その他、お祝い等 4件

(編集担当 元氏・佐伯)

会員増強にご協力を!!